

令和7年度職業訓練指導員試験（資格試験）受験案内

職業訓練指導員試験とは、職業能力開発促進法の規定に基づき、公共職業能力開発施設や、認定職業能力開発校などで職業訓練にあたる指導員に必要な資格を取得するための試験で、合格者には申請により職業訓練指導員免許証が交付されます。

※ 地方公務員採用試験ではありません。

受験申請受付期間：令和7年7月1日（火）～令和7年7月31日（木）
 受験申請方法：インターネットによる申込み（以下、電子申請）、郵送または持参
 試験実施日：令和7年9月10日（水）、令和7年9月11日（木）（職種により異なります。）
 合格発表日：令和7年10月3日（金）

1 実施職種について

職種	試験の範囲	対象者
冷凍空調機器科 事務科 情報処理科	①学科試験 ・指導方法 ・関連学科（系基礎学科、専攻学科） ②実技試験	「4 受験資格等について」に掲げる受験資格を有する者
上記の職種を除く全職種 （別表1参照）	①学科試験 ・指導方法	「4 受験資格等について」に掲げる受験資格を有する者のうち、実技試験及び学科試験のうち関連学科（系基礎学科、専攻学科）が免除される者

2 試験日及び試験会場について

職種	試験区分	試験日・受付時間	試験会場
冷凍空調機器科	学科試験	令和7年9月10日（水曜日） 9：20～9：50	福岡県吉塚合同庁舎803号会議室 （福岡市博多区吉塚本町13-50）
	実技試験の一部		
	実技試験の一部	令和7年9月11日（木曜日） 9：10～9：40	福岡県立福岡高等技術専門学校 （福岡市東区千早4-24-1）
事務科 情報処理科	学科試験 実技試験	令和7年9月10日（水曜日） 9：20～9：50	福岡県吉塚合同庁舎803号会議室 （福岡市博多区吉塚本町13-50）
上記の職種を除く全職種 （別表1参照）	学科試験のうち 指導方法		

※ 福岡県吉塚合同庁舎は大規模改修工事中です。作業内容によっては騒音や臭気が発生することが想定されます。ご了承ください。

5 試験科目について

職種	試験の科目
冷凍空調機器科	<p>1 学科試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導方法（職業訓練原理、教科指導法、訓練生の心理、生活指導、職業訓練関係法規） ・関連学科のうち系基礎学科 <ul style="list-style-type: none"> ①建築工学（建築設備、配管設備、建築構造、建築施工） ②安全衛生（安全管理、衛生管理） ・関連学科のうち専攻学科 <ul style="list-style-type: none"> ①冷凍・空調（制御理論、冷凍理論、冷媒、冷凍機器、空調理論、空調機器、運転調整法） ②施工法（空調設備設計、管工作法、溶接法、板金加工法、据付法、試験測定法、関係法規、仕様及び積算） ③材料（金属材料、配管用材料、ダクト用材料、塗料、熱絶縁用材料） <p>2 実技試験 冷凍空調機器の据付け及び運転調整</p>
事務科	<p>1 学科試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導方法（職業訓練原理、教科指導法、訓練生の心理、生活指導、職業訓練関係法規） ・関連学科のうち系基礎学科 <ul style="list-style-type: none"> ①事務一般（企業形態、企業組織、応接法、OA 機器、関係法規） ②安全衛生（安全管理 衛生管理） ・関連学科のうち専攻学科 <ul style="list-style-type: none"> ①事務（総務実務、文書実務、人事実務、営業実務、OA 事務） ②簿記・会計（商業簿記、工業簿記、原価計算、財務諸表論、税務計算） <p>2 実技試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文書実務 ・計算実務 ・簿記及び会計実務
情報処理科	<p>1 学科試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導方法（職業訓練原理、教科指導法、訓練生の心理、生活指導、職業訓練関係法規） ・関連学科のうち系基礎学科 <ul style="list-style-type: none"> ①ソフトウェア（言語理論、プログラミング言語、オペレーティングシステム、データベース構造） ②ハードウェア（情報理論、CPU、周辺装置、コンピュータ・アーキテクチャ） ③ネットワーク（プロトコル、LAN） ④情報工学（情報科学、情報数学、情報セキュリティ） ⑤経営工学（経営管理、生産管理） ⑥安全衛生（安全管理、衛生管理） ・関連学科のうち専攻学科 <ul style="list-style-type: none"> ・システム設計（コード設計、構造設計、画面設計、ファイル設計、モジュール設計、運用設計、データベース設計、プログラム設計） <p>2 実技試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム設計 ・プログラム設計
上記の職種を除く 全職種	<p>1 学科試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導方法（職業訓練原理、教科指導法、訓練生の心理、生活指導、職業訓練関係法規）

6 受験申請の手続きについて

(1) 受験申請書類の受付期間

令和7年7月1日(火曜日)～7月31日(木曜日)

※ 持参の場合の受付時間は9時00分～17時00分(土、日曜日及び祝日を除く。)です。

※ 郵送の場合は、受付最終日までの消印のあるものに限り受け付けます。

※ 受付期間外には受付または受取できませんのでご注意ください。

(2) 申請方法

電子申請、郵送、又は持参により福岡県庁職業能力開発課までご提出ください。申請から受験までの流れは、ア、イの通りです。

ア 電子申請の場合

(ア) ふくおか電子申請サービスにおいて、**受付期間末日の正午までに申請してください。**(左記二次元コードまたは下記 URL よりアクセスできます。)



申請手続案内画面

ふくおか電子申請サービス「職業訓練指導員試験申請」手続案内画面

<https://shinsei.pref.fukuoka.lg.jp/SdsShinsei/directCall.harp?target=tetuduki&lgCd=400001&shinseiFmtNo=020186&shinseiEdaban=01>

※ このとき、受験資格及び免除要件に該当することを証する書面の写し(履修証明書や合格証書の写しなど)が必要ですのであらかじめご準備の上申請してください。

(イ) 審査完了後、県から申請時に入力されたメールアドレス宛に手数料の納付等を案内するメールをお送りします。

(ウ) **受付期間末日の23時59分までに手数料の納付をお願いします。**期限までに手数料の納付が完了しない場合は、受験できませんので、こまめにメールをチェックしてください。(支払いは、クレジットカード、コンビニ、Pay Pay、Pay-easyのいずれかの方法に限ります。)

(エ) 8月29日(金)に、県HPで公開される受験番号をもとに、受験票を作成してください。作成方法は、本案内16ページをご確認ください。 ※ 受験票は郵送しませんのでご注意ください。

(オ) 試験日当日に、作成した受験票を試験会場に持参してください。

イ 郵送又は持参の場合

(ア) 必要事項を記載した受験申請書(本案内の15ページ)、作成した受験票、受験資格及び免除要件に該当することを証する書面の写し、受験手数料(下記(3)参照)を、簡易書留で郵送又は持参してください。

(イ) 審査完了後、県から受験番号を付した受験票を送付します。

(ウ) 試験日当日に、受験票を試験会場に持参してください。

(3) 受験申請時の提出書類等(別表5参照)

○ 職業訓練指導員試験受験申請書(様式は15ページ。電子申請の場合は入力による申請となります。)記入漏れがないこと。また、履歴欄には受験資格及び免除要件確認のため、必ず学歴(訓練歴)・職歴を記入すること。

○ 受験票(様式、作成方法は16ページ。)

郵送又は持参による提出の場合は、太枠内を記入し、提出してください。

電子申請の場合は受験申請時の提出は不要ですが、太枠内を記入し写真を貼って試験当日に持参してください。

○ 受験資格及び免除要件に該当することを証する書面の写し(電子申請の場合はデータで提出)
例：履修証明書や合格証書の写し等

○ 受験手数料

郵送又は持参による申請の場合は、福岡県領収証紙で納入すること。

※ 福岡銀行、警察署、県庁地下売店等で購入できます。

福岡県領収証紙について（福岡県庁 HP）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kkaikei.html>

※ 収入印紙ではありませんのでご注意ください。

※ 電子申請の場合は、クレジットカード、コンビニ、Pay Pay、Pay-easy のいずれかにより納入すること。

(4) 受験手数料

○ 実技試験（冷凍空調機器科、事務科及び情報処理科） 15,800 円

○ 学科試験（指導方法のみの受験の場合も同額） 3,100 円

(5) 受験申請書等の提出先

郵送又は持参による申請の場合、下記住所まで

※ 郵送の場合は、封筒に「**職業訓練指導員試験受験申請書在中**」と朱書きし、必ず簡易書留で郵送してください。

送付先：〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園 7-7

福岡県福祉労働部労働局職業能力開発課技能振興係

7 受験申請書の配布について

○ 受験申請書等の各様式は、県 HP（下記 URL）からダウンロードできるほか、次の場所で配布します。（土、日曜日及び祝日を除く平日の9時00分～17時00分）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/shokugyoukunnrenn-r7.html>



県 HP

受験申請書の郵送を希望される場合は、封筒の表に「**指導員試験受験申請書希望**」と朱書きし、180 円分の切手を貼り宛先を明記した返信用封筒（角形2号）を同封の上、福岡県福祉労働部労働局職業能力開発課へお申込みください。

なお、申請受付期間がありますので、受験申請書は早めにお取り寄せください。

【受験申請書の配布場所】

配布場所	所在地	電話番号
福岡県福祉労働部労働局 職業能力開発課	〒812-8577 福岡市博多区東公園 7-7	092-643-3603
福岡県立福岡高等技術専門学校	〒813-0044 福岡市東区千早 4 丁目 24-1	092-681-0261
福岡県立戸畑高等技術専門学校	〒804-0031 北九州市戸畑区東大谷 2 丁目 1-1	093-882-4306
福岡県立小竹高等技術専門学校	〒820-1104 鞍手郡小竹町大字新多 514-2	0949-62-6441
福岡県立久留米高等技術専門学校	〒839-0861 久留米市合川町 1786-2	0942-32-8795
福岡県立大牟田高等技術専門学校	〒837-0924 大牟田市大字歴木 475	0944-54-0320
福岡県立田川高等技術専門学校	〒825-0005 田川市大字糶 2059	0947-44-1676
福岡県立小倉高等技術専門学校	〒802-0822 北九州市小倉南区横代東町 1 丁目 4-1	093-961-4002
国立県営福岡障害者職業能力開発校	〒808-0122 北九州市若松区蛸住 1728-1	093-741-5431
福岡県職業能力開発協会	〒813-0044 福岡市東区千早 5 丁目 3-1	092-671-1238

8 受験票について

- 電子申請の場合は、受付期間終了後、8月29日（金）に県HPで受験番号を発表しますので、その後、作成をお願いします（作成方法は16ページ参照）（試験当日に必ず持参してください）。
- 郵送又は持参による申請の場合は、受付期間終了後に受験票を送付します（試験当日に必ず持参してください）。
- 郵送又は持参による申請の場合、令和7年9月2日（火曜日）までに受験票が届かない場合は、お問合せください。

9 合格発表について

合格発表日：令和7年10月3日（金曜日）

- ※ 合格者の受験番号を県のHPに掲載します。
- ※ 受験者全員に結果を郵送します。

10 試験合格者の特典について

- 試験合格者は、その職種について技能検定（1級・2級・3級・単一等級）を受けるとき、学科試験の全部が免除されます。
- 免許取得後、1年以上の実務経験で1級の技能検定が受検できます。
- 労働安全衛生法に基づく資格を取得するとき、該当職種について試験（講習）の全部又は一部が免除されます。
- 自動車整備科の合格者は、自動車整備士技能検定規則による2級又は3級の技能検定を受検する際、学科試験（保安基準その他自動車整備に関する法規の科目を除く）及び実技試験の一部が免除されます。

11 点数の簡易開示について

試験の得点については以下のとおり開示請求することができます。

ただし、電話及びはがき等による請求では開示できません。

開示請求できる人	開示内容	開示期間	開示場所
受験者本人のみ （運転免許証等の本人確認ができるものが必要）	総合得点	合格発表日から1ヶ月間 （土、日曜日及び祝日を除く 平日の9:00～17:00）	福岡県福祉労働部 労働局職業能力開発課 （福岡県庁 北棟2階）

12 個人情報の取扱いについて

受験申請書類に記載された個人情報については、職業訓練指導員試験に関する事務以外の目的には使用しません。

13 試験に関する書籍について

学科試験のうち指導方法に関する書籍は以下のとおりですので、各自、書店でお買い求めください。

『12訂版 職業訓練における指導の理論と実際』（一般財団法人 職業訓練教材研究会）

次のページより、別表が続きます。

別表1：職業訓練指導員免許職種(123 職種)

園芸科	造園科	森林環境保全科	鉄鋼科	鑄造科	鍛造科
熱処理科	塑性加工科	溶接科	構造物鉄工科	金属表面処理科	機械科
電子科	電気科	コンピュータ制御科	発電電科	送配電科	電気工事科
自動車製造科	自動車整備科	自動車車体整備科	航空機製造科	航空機整備科	鉄道車両科
造船科	時計科	光学ガラス科	光学機器科	計測機器科	理化学機器科
製材機械科	内燃機関科	建設機械科	農業機械科	縫製機械科	織布科
織機調整科	染色科	ニット科	洋裁科	洋服科	縫製科
和裁科	寝具科	帆布製品科	木型科	木工科	工業包装科
紙器科	製版・印刷科	製本科	プラスチック製品科	レーザー加工科	ガラス科
ほうろう製品科	陶磁器科	石材科	麺科	パン・菓子科	食肉科
水産物加工科	発酵科	建築科	枠組壁建築科	とび科	建設科
プレハブ建築科	屋根科	スレート科	建築板金科	防水科	サッシ・ガラス施工科
畳科	インテリア科	床仕上げ科	表具科	左官・タイル科	築炉科
ブロック建築科	熱絶縁科	冷凍空調機器科	配管科	住宅設備機器科	さく井科
土木科	測量科	建築物設備管理科	ボイラー科	クレーン科	建設機械運転科
港湾荷役科	化学分析科	公害検査科	木材工芸科	竹工芸科	漆器科
貴金属・宝石科	印章彫刻科	塗装科	広告美術科	デザイン科	義肢装具科
電気通信科	電話交換科	事務科	貿易事務科	流通ビジネス科	写真科
介護サービス科	理容科	美容科	料・旅館・レストラン科	観光ビジネス科	日本料理科
中国料理科	西洋料理科	臨床検査科	フラワー装飾科	メカトロニクス科	情報処理科
フォークリフト科	建築物衛生管理科	福祉工学科			

別表2：職業能力開発促進法による受験資格及び免除となる試験の範囲

受験資格（主なもの）		免許職種に関する必要実務経験年数	免除の範囲			
			実技	学科		
				関連学科		指導方法
				系基礎学科	専攻学科	
学校教育	●大学卒業	1年以上		免除	免除	
	●短期大学卒業	2年以上				
	●高等専門学校卒業	2年以上		免除	免除	
	●高等学校又は中等教育学校（後期課程）卒業	3年以上				
	高等学校又は中等教育学校卒業	5年以上				
職業訓練	指導員養成課程又は職業能力開発研究学域の指導員養成訓練を修了し、既に免許を受けた者	1年以上				
	●専門課程又は特定専門課程の高度職業訓練修了者	1年以上		免除	免除	
	●普通課程の普通職業訓練修了者	2年以上				
	●短期課程の普通職業訓練(700時間以上)修了者	3年以上				
	●応用課程又は特定応用課程の高度職業訓練修了者	なし		免除	免除	
厚生労働大臣が指定する学校	●専門課程(2年)の専修学校卒業	3年以上				
	●専門課程(3年)の専修学校卒業	2年以上				
	●高等課程若しくは一般課程(2年)の専修学校又は各種学校(2年)卒業	4年以上				
	●高等課程若しくは一般課程(3年)の専修学校又は各種学校(3年)卒業	3年以上				
実務経験のみ(免許職種に関する実務経験)		8年以上				
1級又は単一等級の技能検定(電子回路接続及びバルコニー施工を除く)合格者 (別表4参照)		なし	免除	免除	免除	
職業訓練指導員免許を受けた者		なし		◎		免除
免許職種に関し、職業訓練指導員試験において実技試験に合格した者		なし	免除			
職業訓練指導員試験において学科試験に合格した者		なし		免除	免除	免除

※ ●：免許職種に関する学科を履修していること

◎：取得されている免許職種と同一の系基礎学科を受験される場合、免除

別表3：他の法令による受験資格及び免除となる試験の範囲（主なもの）

職業訓練 指導員 免許職種	受験資格	免除の範囲			
		実技	学科		
			関連学科		指導 方法
			系基 礎学 科	専攻 学科	
溶接科	ボイラー及び圧力容器安全規則による特別ボイラー溶接士免許を有する者	免除	免除	免除	
冷凍空調 機器科	高压ガス保安法による第一種冷凍機械責任者の免状を有する者		免除	免除	
	高压ガス保安法による第二種冷凍機械責任者又は第三種冷凍機械責任者の免状を有する者				
電子科	電波法による第一級陸上無線技術士の免許を有する者	免除	免除	免除	
自動車整 備科	自動車整備士技能検定規則による一級大型、一級小型、一級二輪、二級ガソリン、二級ジーゼル若しくは二級二輪自動車整備士の技能検定の合格証書を有する者	免除	免除	免除	
	平成十二年省令による改正前の自動車整備士技能検定規則による一級四輪自動車整備士又は昭和五十三年省令による改正前の自動車整備士技能検定規則による二級三輪自動車整備士の技能検定の合格証書を有する者	免除	免除	免除	
自動車 車体整備 科	自動車整備士技能検定規則による自動車車体整備士の技能検定の合格証書を有する者	免除	免除	免除	
ボイラー 科	ボイラー及び圧力容器安全規則による特級ボイラー技士の免許を有する者又は電気事業法によるボイラー・タービン主任技術者の免状を有する者	免除	免除	免除	
臨床検査 科	医師法による医師国家試験、歯科医師法による歯科医師国家試験又は獣医師法による獣医師国家試験の合格証書を有する者	免除	免除	免除	
事務科	公認会計士法による公認会計士試験の短答式による試験若しくは論文式による試験、平成十五年法律による改正前の公認会計士法による公認会計士試験の第二次試験若しくは第三次試験又は税理士法による税理士試験に合格したことを証する書面を有する者	免除	免除	免除	
情報処理 科	情報処理の促進に関する法律施行規則によるシステムアーキテクト試験若しくはシステム監査技術者試験の合格証書を有する者		免除	免除	
	情報処理の促進に関する法律施行規則によるネットワークスペシャリスト試験、若しくは応用情報技術者試験の合格証書を有する者				

別表3：他の法令による受験資格及び免除となる試験の範囲（主なもの）（続き）

職業訓練 指導員 免許職種	受験資格	免除の範囲			
		実技	学科		指導 方法
			関連学科		
			系基礎 学科	専攻 学科	
情報処理科	平成二十八年省令による改正前の情報処理技術者試験規則によるシステムアーキテクト試験若しくはシステム監査技術者試験の合格証書を有する者		免除	免除	
	平成二十八年省令による改正前の情報処理技術者試験規則によるネットワークスペシャリスト試験若しくは応用情報技術者試験の合格証書を有する者				
	平成二十一年省令による改正前の情報処理技術者試験規則によるアプリケーションエンジニア試験若しくはシステム監査技術者試験の合格証書を有する者		免除	免除	
	平成二十一年省令による改正前の情報処理技術者試験規則によるテクニカルエンジニア(ネットワーク)試験若しくは応用情報技術者試験の合格証書を有する者				
	平成十九年省令による改正前の情報処理技術者試験規則によるアプリケーションエンジニア試験若しくはシステム監査技術者試験の合格証書を有する者		免除	免除	
	平成十九年省令による改正前の情報処理技術者試験規則によるテクニカルエンジニア(ネットワーク)試験若しくはソフトウェア開発技術者試験の合格証書を有する者				
	平成十二年省令による改正前の情報処理技術者試験規則によるシステム監査技術者試験若しくはアプリケーションエンジニア試験の合格証書を有する者		免除	免除	
	平成十二年省令による改正前の情報処理技術者試験規則によるネットワークスペシャリスト試験若しくは第一種情報処理技術者試験の合格証書を有する者				
	平成六年省令による改正前の情報処理技術者試験規則による情報処理システム監査技術者試験若しくは特種情報処理技術者試験の合格証書を有する者		免除	免除	
	平成六年省令による改正前の情報処理技術者試験規則によるオンライン情報処理技術者試験の合格証書を有する者				

別表3：他の法令による受験資格及び免除となる試験の範囲（主なもの）（続き）

職業訓練指導員 免許職種	受験資格	免除の範囲			
		実技	学科		指導方法
			関連学科		
			系基礎 学科	専攻 学科	
介護 サービス科	児童福祉法による保育士登録証を有する者であって、介護サービス科に関し七年以上の実務の経験を有し、かつ、社会福祉士及び介護福祉士法第四十条第二項第五号(以下、「同号」とする)の規定に該当するもの	免除	免除	免除	
	保健師助産師看護師法による保健師、助産師若しくは看護師の免許を有する者、同法による准看護師の免許を有する者であって、介護サービス科に関し七年以上の実務の経験を有するもの	免除	免除	免除	
	教育職員免許法による養護教諭の免許状を有する者であって、介護サービス科に関し七年以上の実務の経験を有するもの若しくは同号の規定に該当するもの	免除	免除	免除	
	理学療法士及び作業療法士法による理学療法士若しくは作業療法士の免許を有する者であって、同号の規定に該当するもの	免除	免除	免除	
	社会福祉士及び介護福祉士法による社会福祉士登録証を有する者であって、同号の規定に該当するもの、同法による介護福祉士登録証を有する者	免除	免除	免除	
	精神保健福祉士法による精神保健福祉士登録証を有する者であって、同号の規定に該当するもの	免除	免除	免除	
	就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律による保育教諭の資格を有する者であって、介護サービス科に関し七年以上の実務の経験を有し、かつ、同号の規定に該当するもの	免除	免除	免除	

※ 職業能力開発促進法施行規則別表第11の3参照

別表4：職業訓練指導員免許職種と技能検定職種との対応表

免許職種	技能検定職種	免許職種	技能検定職種
園芸科	園芸装飾	プラスチック製品科	プラスチック成形、強化プラスチック成形
造園科	造園	ブロック建築科	ブロック建築、エーエルシーパネル施工
森林環境保全科		石材科	石材施工
鉄鋼科	金属溶解	麺科	製麺
鋳造科	金属溶解、鋳造、粉末冶金、ダイカスト	パン・菓子科	パン製造、菓子製造
鍛造科	鍛造	食肉科	ハム・ソーセージ・ベーコン製造
熱処理科	金属熱処理、金属材料試験	水産物加工科	水産練り製品製造
機械科	機械加工、非接触除去加工、金型製作、仕上げ、機械検査、機械保全、油圧装置調整、テクニカルイラストレーション、機械・プラント製図、切削工具研削	発酵科	みそ製造、酒造
		建築科	建築大工、枠組壁建築、バルコニー施工、サッシ施工
		屋根科	かわらぶき
		とび科	とび
		左官・タイル科	左官、タイル張り
塑性加工科	金属プレス加工、工場板金、鉄工、建築板金	築炉科	築炉
構造物鉄工科	鉄工	畳科	畳製作
金属表面処理科	めっき、アルミニウム陽極酸化処理	配管科	配管
		住宅設備機器科	
電子科	電子回路接続、電子機器組立て、半導体製品製造、自動販売機調整	さく井科	さく井、ウェルポイント施工
		建設科	型枠施工、鉄筋施工、コンクリート圧送施工
メカトロニクス科	シーケンス制御	枠組壁建築科	建築大工、枠組壁建築、バルコニー施工
電気科	電気機器組立て、シーケンス制御、自動販売機調整、電気製図	建築板金科	建築板金
		防水科	防水施工
		インテリア科	内装仕上げ施工、表装
自動車製造科	内燃機関組立て	床仕上げ科	内装仕上げ施工
鉄道車両科	鉄工、鉄道車両製造・整備	熱絶縁科	熱絶縁施工
造船科	鉄工	サッシ・ガラス施工科	カーテンウォール施工、ガラス施工、サッシ施工
時計科	時計修理		土木科
光学ガラス科	光学機器製造	化学分析科	化学分析
光学機器科		公害検査科	
製材機械科	切削工具研削	貴金属・宝石科	貴金属装身具製作
内燃機関科	内燃機関組立て	印章彫刻科	印章彫刻
縫製機械科	縫製機械整備	表具科	表装
建設機械科	建設機械整備		
農業機械科	農業機械整備		

別表4：職業訓練指導員免許職種と技能検定職種との対応表（つづき）

免許職種	技能検定職種	免許職種	技能検定職種
冷凍空調機器科	冷凍空気調和機器施工	塗装科	塗装、塗料調色
染色科	染色	広告美術科	広告美術仕上げ
ニット科	ニット製品製造	義肢装具科	義肢・装具製作
洋裁科	婦人子供服製造	工業包装科	工業包装
洋服科	紳士服製造	写真科	写真
和裁科	和裁	建築物衛生 管理科	ビルクリーニング
寝具科	寝具製作	建築物設備 管理科	ビル設備管理
帆布製品科	帆布製品製造	日本料理科	調理
縫製科	布はく縫製	中国料理科	
木工科	機械木工、家具製作、建具製作	西洋料理科	
紙器科	紙器・段ボール箱製造	フラワー装飾科	フラワー装飾
製版・印刷科	印刷、プリプレス		
製本科	製本		

別表5：受験申請時の提出書類一覧表

	受験申請書	に貼った受験票 (郵送又は持参による申請の場合) はがき	手(はがきが官製はがきの場合)は不要 (郵送又は持参による申請の場合) 85円切	受験手数料	学校の履修証明書	学校の卒業証明書又は修了証明書	技能検定合格証書の写し	その他資格・免許証書の写し	指導員試験一部合格証書の写し
●大学・短大・高専・高校・中等教育学校・専修・各種学校卒業生	○	○	○	○	○	○			
高校・中等教育学校卒業生(免許職種に関する学科以外)	○	○	○	○					
●職業訓練修了者	○	○	○	○	○	○			
技能検定合格者	○	○	○	○					
免許職種に関し職業訓練指導員試験における一部合格者	○	○	○	○					○
上記いずれかの受験資格に該当し、他職種の職業訓練指導員免許の交付を受けた者	○	○	○	○				○	
他の法令による受験資格及び免除資格を有する者	○	○	○	○				○	

※ ●：免許職種に関する学科を履修していること

【問合せ先・受験申請書等の提出先】

〒812-8577

福岡市博多区東公園7番7号(県庁北棟2階)

福岡県福祉労働部労働局職業能力開発課技能振興係

TEL：092-643-3603

FAX：092-643-3605

職業訓練指導員試験受験申請書

職業訓練指導員試験を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

令和7年 月 日現在

免許職種				科 受験
ふりがな				
氏名				生年月日
現住所	〒			昭和・平成 年 月 日生 (歳)
昼間に連絡が 取れる電話番号				

履歴 (最近のものから順に記入)	学歴	学校名	学部・学科・課程	在学期間	修了状況
				年 月～ 年 月	卒業・修了・中退
				年 月～ 年 月	卒業・修了・中退
	訓練歴	施設名	訓練科名	訓練期間	修了状況
				年 月～ 年 月	修了・中退
				年 月～ 年 月	修了・中退
	職歴	事業所名	連絡先(電話)	在職期間	職務内容
				年 月～ 年 月	
				年 月～ 年 月	

精神の機能の障害により職業訓練指導員の業務を適正に行うにあたって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者に該当	する・しない
拘禁刑以上の刑に処せられたことの有無	有・無
職業訓練指導員免許の取消しを受けたことの有無 (「有」の場合、下記3項目を記入すること。)	有・無
取消し都道府県知事名	
取消し年月日	
取消し理由	
試験の免除を受ける意思の有無 (一部免除含む。有の場合、下記5項目のうち、該当箇所を必ず記入すること。)	有・無

受験区分 (免除の有無)		試験科目	免除の理由(免許・資格・検定等の名称) ※証明書類添付のこと	取得年月	免除資格 判定
		指導方法	いずれかに○(職業訓練指導員免許・指導方法の一部合格) 取得都道府県名()取得職種名(科)	年 月	※
	学科 関連 学科	系基礎学科		年 月	※
		専攻学科		年 月	※
		実 技		年 月	※

福岡県知事殿
上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

受験申請者氏名(自著)

注 太枠内を漏れなく記入ください。また、※の箇所は記入しないこと。

受験票

受験番号	受験免許職種	科
氏名	ふりがな	

試験日	令和7年9月10日（水）	
試験会場	福岡県吉塚合同庁舎 803号会議室 （福岡市博多区吉塚本町13-50）	
職種	試験区分	集合時間（試験時間）
科	指導方法	9:50（1時間）
	系基礎学科	11:10（1時間）
	専攻学科	13:15（1時間）
	（情・事・冷）実技	14:30（1時間）
	（事）実技	15:45（1時間）

試験日	令和7年9月11日（木）	
試験会場	福岡高等技術専門学校 （福岡市博多区吉塚本町13-50）	
職種	試験区分	集合時間（試験時間）
冷凍空調機器科	実技（作業）	9:40（2時間）

切り取り線1

郵送、持参申請の場合は、申請時は切り離さず提出すること。試験当日は切り離し、どちらも持参すること。

受験番号票

職種	試験区分	写真貼付欄
科	指導方法	○6か月以内に無帽、上半身正面向きに撮ったもの（30mm×40mm程度） ○郵送、持参申請の場合は返送後に貼付すること。
	系基礎学科	
	専攻学科	
氏名	実技試験	
受験番号		

【電子申請の方へ】

～受験票についての説明～

- 1 受験票様式を県HPからダウンロードする。
福岡県HP「令和7年度職業訓練指導員試験実施について」
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/shokugyoukunnrenn-r7.html>
- 2 8月29日までに上記HPで受付番号ごとに発表される受験番号を確認し、網掛け部分（計2か所）に入力する。
- 3 太枠内（計9か所）を記入する。
※申請内容と合致するように入力すること。
- 4 写真貼付欄に写真を挿入する。
- 5 本シートをA4の白色紙にカラー印刷する。
- 6 「切り取り線1」で切り離すと受験票が完成する。
- 7 「切り取り線2」で切り離し、その両方を試験当日持参する。
※受験番号票は試験当日に回収します。



【受験者の皆様へ】

～受験票作成について補足～

- 試験区分の太枠内には、受験する区分のみ「○」を記入してください。
- 冷凍空調機器科の実技試験を受験する場合は、試験区分の「（情・事・冷）実技」欄及び「実技（作業）」欄に「○」を記入してください。
なお、「（情・事・冷）実技」は筆記試験、「実技（作業）」は作業試験です。
- 事務科の実技試験を受験する場合は、試験区分の「（情・事・冷）実技」欄及び「（事）実技」欄に「○」を記入してください。
なお、「（情・事・冷）実技」は簿記及び会計実務、「（事）実技」文書実務・計算実務です。
- 情報処理科の実技試験を受験する場合は、試験区分の「（情・事・冷）実技」欄に「○」を記入してください。

～受験上の注意～

- 1 集合時間までに試験場に到着し、受験番号と同一番号を付けた席に着くこと。
- 2 試験開始後30分以上経過した後に到着した者及び受験票を持参しない者の受験は認めないので注意すること。
- 3 受験中は受験票を机の上に置くこと。
- 4 筆記具は各自持参すること。
- 5 駐車場がないので車で来場しないこと。
- 6 試験中は私語厳禁です。

【郵送、持参申請の方へ】～受験票についての説明～

1. 申請までにしていただくこと
 - (1)このページをA4の白色紙に印刷する。
 - (2)太枠内（計9か所）を記入する。
※申請内容と合致するように記入すること。
 - (3)「切り取り線1」に沿って切り離す。
 - (4)切り離した上の様式をはがきの宛名面の裏側に、剥がれないようにしっかり貼り付ける。
 - (5)はがきの宛名面に受験票送付希望住所と申請者名を記入する。
また、郵送料込みのはがき（官製はがき）でない場合は、85円切手を貼る。
 以上で、受験票が完成するので、申請書等と一緒に提出すること。
2. 申請後にしていただくこと
受験番号を記入した受験票が返送されるので、写真貼付欄に写真を貼り、「切り取り線2」で切り離し、その両方を試験当日持参する。
※受験番号票は当日回収します。